

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人清幸会	代表者	池田 香織	法人・事業所の特徴	那須塩原市、那須町に特別養護老人ホーム（3施設）小規模多機能型施設（4事業所）グループホーム（3事業所）デイサービス（2事業所）認知症デイ（1事業所）居宅介護支援（2事業所）地域包括（1事業所）があり、利用者のニーズや身体状況に合ったサービスの提供を行うことができます。
事業所名	第2まつばら荘	管理者	菊池 里美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	2人	1人	人	9人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き全職員が自己評価を行っていく。 達成できなかった課題・目標に対し、達成できる方法や取り組みなどについて職員会議で前向きに検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員で自己評価を行い、事業所評価を行うことができた。 小規模職員会議の場で話し合う事で、項目に対する内容についての共通理解をしながら、自己評価・事業所評価に取り組むことができた。 昨年度の自己評価・事業所評価で達成できなかったことをどうすれば達成できるのか、職員の中で検討し、取り組む姿勢があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年評価の引き写しではなく、しっかり検討し評価した姿勢が伺えました。 形だけで終わらせることなく、真剣に自己評価に取り組んでいることがわかります。 できていない事柄も、正直に振り返ることで、より具体的な改善策が建てられると思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、全職員が自己評価を行う。 各職員が定期的に自己評価の確認を行い、課題・目標を達成するうえで疑問、取り組み方法などを個別に教育するための機会を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の整理整頓を徹底する。 職員・利用者様とが共同で事業所内の装飾を行い、楽しく事業所内のしつらえが行えるよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の備品の管理や定位置管理など基本的な事を周知、徹底し、整理整頓を行う事により、備品管理に係る時間が短縮され、業務が効率化できた。 車輛・敷地内についても業務時間の間でできる範囲での清掃を行った。 事業所中庭の一部に花壇を作り、利用者様と職員とが協力しながら花や野菜を植え、鑑賞や収穫などの活動が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に伺わないと判断しかめる項目のため、一度参集による会議の検討をお願いします。 いつお訪ねしても、温かく出迎えてくださっています。対応も丁寧で、とても気持ちの良い事業所と感じています。 行事の報告や第2まつばら荘通信で、施設内の様子が伺え、季節に合わせた装飾等の工夫が分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の中庭を利用者様が自由に過ごせる場所にするよう環境を整える。 引き続き、事業所内の消毒・換気を徹底的に行い、ご利用者が安心して過ごせる環境を整える。 整理整頓を徹底することにより業務の効率化を図り、利用者様と関わる時間の確保を行っていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、地域資源の情報収集を継続して行い、活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動スーパーとくし丸を活用し、職員と一緒に買い物をしたり、普段買い物に行けない方も、安心して買い物ができる機会を確保することができた。 ・外出の機会が確保できない中でも、近所にある中華料理店に利用者様と一緒に行くことができた。お店の方も温かく親切に対応してくださったので、今後も良い関係を築いていくようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症予防の観点から活動を控えられたことと思います。今後も状況に応じて、引き続き、地域との交流について検討をお願いします。 ・地域とのかかわりは、中々手が回らない課題かもしれません。相手があることでもありますし、機会があれば積極的に参加するというので、当面は良いのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの方へ協力依頼を行い、交流活動範囲を広げていく。 ・事業所の活動報告のため、地域の方向けの広報誌を作成し配布する。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事やイベントが開催される場合には、感染症対策を徹底しながら参加を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事として、地域で馴染みのある場所へお花見や紅葉ドライブ外出を計画し実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の外出については、コロナウイルス感染症拡大防止の工夫をしながらドライブ等を実施している様子が伺えました。 ・利用者の皆様が、地域の行事やイベントに参加するというのは、中々困難な状況かと思えます。ただ、職員の皆様方は大変ですが、出来れば地域の子供たちとの交流などがあると良いとは思いますが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の状況をみながら、外出やイベント企画実施し、ご利用者の楽しみや生きがい等をお聞きする機会にしていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行状況を考慮しながら、対面での開催について、実施できるようにする。対面開催が再開した際には、事業所内の様子や雰囲気を見ていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面での開催がで実施しなかった。 ・書面開催ではあったが、運営推進委員の方に状況報告をし、たくさんのご意見を頂くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらでも感染症拡大防止の観点から、対面開催が行えていないため、取り組みの評価は「いいえ」とさせていただいたものがあります。引き続き、状況を見ながら参集やオンライン等を利用者田開催の検討をお願いいたします。 ・事業所の中には、内容がいつも同じであったり、形だけの開催というところもあると思いますが、まつばら荘様は、毎回真剣に取り組んでいるのが伝わってきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会メンバーの皆様にご参加いただいていた対面開催を行う。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の BCP 策定を行い、令和 6 年度からの運用ができるよう、訓練や研修の機会を確保する。 ・地域の防災組織との連携が図れるよう、事業所の防災訓練などの情報をお伝えしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害発生時、感染症発生時の PCP 策定を行った。 ・地域防災組織の活動情報が 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP 策定に向けた委員会の活動が確認できました。 ・令和 6 年 4 月 1 日からの運用が滞りなくされるよう、引き続き準備をお願いします。 ・防災・災害対策については、外部の者は詳しく存じ上げませんが、その他の取り組み方を拝見し、この点に関しても、とても信頼できる事業所であると思っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の防災意識や災害発生時の対応を高めることを目的に、事業所では 1 年に 2 回の防災訓練を行う。 ・訓練を実施しながら BCP の定期的な見直しを行う。
----------------------------	--	---	--	--